

先生の声

生 徒一人一人、心に響いた部分は違うと思いますが、今回の演劇が勇気を与え、未来を肯定的に捉え、演劇鑑賞で感じたり思ったりしたことを大切にしながら成長していったと思います。

は っきりとした発声によって、ダイレクトに届く様々なメッセージに感銘を受け、音楽のエネルギーを一身に受けるという素晴らしい体験をした生徒達の心には、言葉では表現しようのない何かが確実に残ったのではと感じています。

本 校の生徒達は演劇を見に行く機会が少ないので、目の前で鑑賞して、役者さんの迫力や声の出し方、衣装に圧倒されていました。公演後の座談会では、劇団員の方と演出家さんに大変お世話になりました。

コ ロナ禍の中での学校生活を強いられてきた生徒たちにとって、生身の人間が目の前で躍動する演劇、とりわけミュージカルに触れることが出来たのは貴重な体験になりました。テーマソングを口ずさみながら帰る生徒の姿が印象的でした。これからの時代を生きていく生徒にとってとてもよい作品でした。

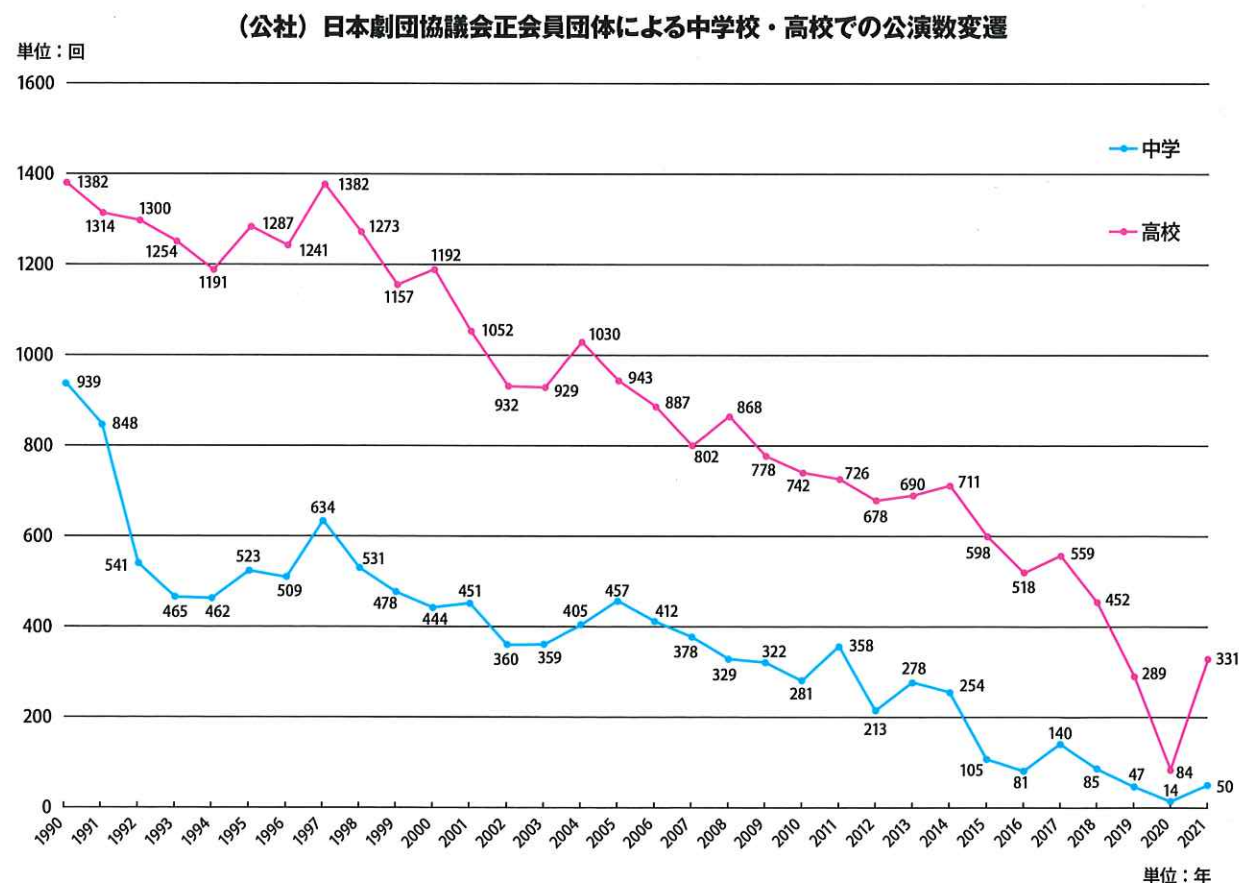
文 化祭で演劇を発表するにあたり、本物の舞台を見せておきたいということで企画しました。上演作品は、深いテーマ性があり、観劇後も長く心に残り、考えさせられる内容でした。舞台と観客が一体となる演出で演劇の醍醐味を味わうことが出来たと思います。生徒は深く感銘を受け、自らの発表のみならず今後の人生にも影響を与えるものと思いました。

高 校生にとって、楽しくかつ考えさせられるテーマであり、素晴らしい公演でした。演者の方々の迫力に圧倒され感動している生徒達の表情は、普段の学校生活とはまた別のものであり、大変印象的でした。



今、高校生にとって必要なもの

私共（公社）日本劇団協議会が「すべての中高生に演劇を」という呼びかけを発してから約20年が経過しました。当時、県単位で高校生の芸術鑑賞に対する姿勢が異なっているために、育った地域によって全く舞台芸術に触れることのない子どもたちがいることを社会的に提起しようというキャンペーンでした。それが今、少子化、貧困の拡大等による高校生の環境悪化が進んだことで、演劇鑑賞機会そのものはさらに減少しているのが実態です。不登校、長期欠席、ヤングケアラー等々の統計数字で目に見えるもの以外にも、社会的な分断と孤立の広がりもあり、心の問題がクローズアップされてきています。特にコロナ禍以降のこの数年で、改めて「生の演劇の持つ生きる力」に注目が集まってもいます。演劇は視覚、聴覚等の五感を通じてダイレクトに客席に働きかけ、新たな価値観や世界観が提示されることで、生きる意欲を引き出します。今だからこそ、すべての高校生に演劇を届けたいと切に願うのです。



出 会いや別れのシーンがあり、大切な人の存在を考えさせられる作品だと思った。一生一緒に居るんだ、と思っていても突然別れは来ってしまうものだから、今周りにいる人と沢山の思い出を作り、気持ちも正直に伝えていきたいと思った。

自 分は劇をするのがはずかしいけど、今回の劇のみなさんは、堂々と全力でやっていてとてもかっこいいなと思いました。自分も堂々とみんなの前で自分の意見や表現できるように努力したいと思いました。特に印象に残っている場面はみんなで歌っていたところです。みんな全力で自分をしっかり表現できていたからです。生で見るととても迫力があって楽しかったです。

生徒の声

私 は今ダンス部に所属しているので勉強になる場面が多くありました。演劇とダンスは違いますが、見ている方々の心をつき動かす為に、全力で体を使う部分は同じだと感じました。1人1人がポーズやアクションに個性を溢らせているのに、全体で見るとまとまっているのがすごいと思いました。私たちも若さを武器に全力で部活に励んでいきたいです。

そ れぞれの俳優が演じる役に入り込み、1秒1秒それぞれの動きがあって、1人ずつ登場人物の動きを全部見たいと感じました。演劇はスポーツよりも疲れなさそうだと思っていましたが、今回の演劇を見て、演劇というものはとてもハードなものだとわかりました。また、歌もとても迫力があって生で演劇を見るのとテレビなどで見るのでは、まったく別物なのだと感じました。

一 回見ただけで演劇への興味がとてもわきました。生で見た演劇の迫力がすごかったです。これからもっと色々な演劇を見たいと思いました。私の人生にとってもいい体験ができたかと改めて思いました。楽しかったです。

今 今回の演劇を見て人々の多様性を改めて学ぶことが出来ました。現在では深刻な問題となっているので、これからは自分の意見を押しつけるのではなく個人として尊重しながら関わって行きたいと思いました。また、このような演劇がさらに増え沢山の人が知ってもらいたいと感じました。

俳 優さんや女優さんの演技力がすごかった。他人からどう思われるかではなく、自分がどう楽しく幸せに生きられるかが大切だと学べたので良かったです。着替えが素早く、忙しそうだったけれど、衣裳が変わるだけで、役者さんの雰囲気も違って同じ人だと思えなかった。色んな音があり、1つ1つ雰囲気も変わっておもしろかった。

声 を通らせるだけでもすごく大変なことだと思うのに、感情もすごく伝わってきて息を呑んだ。今回の公演をきっかけに、性の多様性や平和、宗教問題など、自分なりに深く考えようと思った。

